

複数の管理区域により形成されるターミナル駅において統一的なサインを整備するにあたっては、施工期間中の利用者への影響を最優先に考慮し、管理者間の調整を行うことが不可欠である。今後の具体的な調整にあたり、基本的な考え方を整理する。

サインの整備にあたっての課題

- 整備中の案内機能の確保
- 管理区域を跨ぐ移動に対する案内の連続性の確保
- 整備期間の最小化
- 競合施工の回避

実施手順の基本的な考え方

- サインシステムの核となる「結節空間」を優先的に整備
- 案内の連続性の確保に配慮し、隣接する区域を順に整備
- 連続する動線に対するサインは、可能な限り短期間に整備
- ターミナル全体で調整された整備手順に合わせて整備実施
- 少なくとも主動線に対するサインについては、調整された整備手順に合わせて整備

▼整備手順イメージ

